

情報流出による法人補正予算の一部執行停止について

2019年12月25日

公立大学法人下関市立大学

本法人の2020年度計画予算案の策定が現在学内において進められているところであるが、学長、事務局長による内示前にその予算案が所管する役職員以外の教職員に流出し、学外への流出も想定され、本予算案には工事契約や委託契約、備品購入の予算見積り資料などの項目が含まれるため、2020年度の予算執行が適正にできなくなる恐れがでた。

このため、2020年1月に行う予定であった学長、事務局長内示は一部留保し、予算見積りの見直しを行う。

また、2020年度予算案に関連する事項で、すでに2019年12月24日の経営審議会で承認された2019年度公立大学法人下関市立大学補正予算の一部、工事契約予算についてその執行を停止することとした。

このことについて守秘義務のある策定過程にある予算案にかかる情報が流出することにより、2020年度予算案の策定に大きな支障がでるとともに2019年度補正予算の一部の執行そのものを停止せざる得なくなったことを遺憾に思うとともに、情報流出の経緯等を調査し、情報流出に関与した役職員については法人として厳重な姿勢で臨む。

なお、このことについてご迷惑、ご心配をおかけする大学関係者、市当局、市民の皆さまにお詫び申し上げます。

1 情報漏えいが発覚した経緯

2019年12月19日の教授会において本来予算案にかかる情報を持ちあわせることのない教員がその写しを所持しその内容を発言したこと。

その他、別の教員が予算案にかかる情報をもとに発言したこと。

さらに2019年12月23日、教育研究審議会においても教員が予算案について発言したこと。さらに、2019年12月24日、教員が予算案の内容を見たと記載し、その内容を本学全教員にメールで送付したこと。

以上をもって本来役員、事務局幹部職員しか所持していない2020年度予算案が流出していることを確認した。

2 情報流出内容

2020 年度予算案

工事契約、委託契約、備品購入並びに退職予定者の退職給付金の予算見積り、非常勤講師の報酬見積り額等

3 2019 年度補正予算に伴う執行停止した事業

リカレント教育に従事する教員の研究室の改修工事

4 今後の対応

情報流出過程の調査のため関係者からの聞き取り

不正な情報の流出であれば該当者の処分、場合によっては捜査機関への依頼
再発防止のための情報管理、守秘義務の徹底

《参考》

2020 年度予算策定スケジュール

2019 年 9 月 25 日 経営審議会で審議し、理事長が予算編成方針の決定
10 月 31 日 学内予算編成説明会
11 月 29 日 学内予算要求締切
12 月 16 日～20 日 学長、事務局長ヒアリング

今後の予定

1 月初旬 内示、2 月 理事長ヒアリング
3 月 経営審議会で審議のうえ理事長決定

問合せ

公立大学法人 下関市立大学 事務局
事務局長 砂原 雅夫

TEL 083-252-0288